

# 平成 29 年度第 3 回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

平成 29 年 8 月 19 日(土) 10 時～  
加西市役所 5 階会議室

開会

## 1 委員紹介

## 2 議事

- (1) 財政状況（28 年度決算見込ベース）の報告
- (2) 28 年度事業の評価検証
  - ・第 2 回部会 外部評価（2 次評価）の進め方
- (3) 外部評価（2 次評価）の実施
  - ・3 部会での検討
  - ・全体会での検討

## 3 その他

閉会

### 配布資料

- ・資料 1 10 年間の財政収支見通し
- ・資料 2 第 2 回部会 外部評価（2 次評価）実施要領
- ・総合計画施策評価一覧

### 【次回開催予定】

第 4 回 平成 29 年 10 月 15 日(日) 10:00～ 市役所 1 階多目的ホール

※ 行財政改革プラン(総合計画実施計画)の検討 等

平成 29 年度 第3回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏名	団体名等	役職	備考
小川 麻弥	連合保護者会	副会長	(欠席)
河尻 悟	神戸新聞社	北播総局加西支局長	(欠席)
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	副会長
高見 めぐみ	女性農業者	—	(欠席)
多田 安洋	加西市区長会	副会長	
立花 莉絵子	加西市地域おこし協力隊	隊員	
辰巳 浩輝	北条金融協会	会長	(欠席)
谷川 賢次	加西市連合 P T A	副会長	(欠席)
橋本 たへ子	加西市連合婦人会	理事	
牧瀬 稔	関東学院大学法学部地域創生学科	准教授	会長
吉田 廣	加西市老人クラブ連合会	会長	

■市担当者（説明員）

氏 名	所属・役職名
西岡 義信	都市整備部長
高井 勝正	生活環境部長
河原 浩申	地域振興部長
奥隅 一博	健康福祉部長
山本 和孝	総務部長
達可 忠久	教育部長

■事務局

氏 名	所属・役職名
須貝 正俊	加西市理事（地域創生担当）
森井 和喜	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
小菊 啓靖	ふるさと創造部人口増政策課課長補佐
小林 和敏	ふるさと創造部人口増政策課係長
菅生 綾子	ふるさと創造部人口増政策課主任
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

## 【10年間の財政収支見通し】 ～進捗状況表～

項 目	決算 H22		【決算】	【6月補正】	(単位:百万円)							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市 税	6,453	新計画	6,662	6,589	6,739	6,717	6,693	6,677	6,731	6,607	6,659	6,710
		見込	6,662	6,589	6,739	6,717	6,811	6,789	6,678	6,607	6,659	6,710
		増減	0	0	0	0	118	112	△ 53	0	0	0
地 方 交 付 税	4,450	新計画	4,381	4,282	4,058	3,912	3,970	3,690	3,717	3,648	3,711	3,696
		見込	4,381	4,282	4,058	3,912	4,009	3,735	3,657	3,648	3,711	3,696
		増減	0	0	0	0	39	45	△ 60	0	0	0
譲 与 税 ・ 交 付 金	990	新計画	958	879	925	973	1,270	1,285	1,298	1,390	1,396	1,402
		見込	958	879	925	973	1,325	1,156	1,207	1,390	1,396	1,402
		増減	0	0	0	0	55	△ 129	△ 91	0	0	0
そ の 他 の 収 入	1,544	新計画	1,726	1,653	1,481	1,410	1,226	1,247	1,308	1,278	1,268	1,268
		見込	1,726	1,653	1,481	1,410	1,313	1,525	1,436	1,278	1,268	1,268
		増減	0	0	0	0	87	278	128	0	0	0
歳 入 計	13,437	新計画	13,727	13,403	13,203	13,012	13,159	12,899	13,054	12,923	13,034	13,076
		見込	13,727	13,403	13,203	13,012	13,458	13,205	12,978	12,923	13,034	13,076
		増減	0	0	0	0	299	306	△ 76	0	0	0

人 件 費	3,101	新計画	2,553	2,430	2,393	2,475	2,475	2,481	2,483	2,486	2,457	2,463
		見込	2,553	2,430	2,393	2,475	2,447	2,461	2,531	2,486	2,457	2,463
		増減	0	0	0	0	△ 28	△ 20	48	0	0	0
扶 助 費	1,002	新計画	932	1,019	996	1,008	1,012	1,020	1,029	1,037	1,046	1,055
		見込	932	1,019	996	1,008	1,103	1,161	1,249	1,037	1,046	1,055
		増減	0	0	0	0	91	141	220	0	0	0
公 債 費	2,018	新計画	1,964	1,897	1,718	1,735	1,561	1,631	1,588	1,620	1,715	1,830
		見込	1,964	1,897	1,718	1,735	1,562	1,598	1,589	1,620	1,715	1,830
		増減	0	0	0	0	1	△ 33	1	0	0	0
物 件 費	1,424	新計画	1,595	1,577	1,592	1,635	1,688	1,705	1,730	1,746	1,753	1,761
		見込	1,595	1,577	1,592	1,635	1,772	1,919	1,941	1,746	1,753	1,761
		増減	0	0	0	0	84	214	211	0	0	0
投 資 的 経 費	243	新計画	403	639	939	809	878	900	900	900	900	900
		見込	403	639	939	809	888	948	870	900	900	900
		増減	0	0	0	0	10	48	△ 30	0	0	0
下 水 道 事 業 繰 出 金	1,664	新計画	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,158	990	950	940	920
		見込	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,135	957	950	940	920
		増減	0	0	0	0	0	△ 23	△ 33	0	0	0
病 院 事 業 繰 出 金	609	新計画	620	700	800	800	800	900	900	900	900	900
		見込	620	700	800	800	800	1,150	900	900	900	900
		増減	0	0	0	0	0	250	0	0	0	0
そ の 他	2,687	新計画	3,424	3,353	2,987	3,120	3,438	3,425	3,281	3,292	3,323	3,334
		見込	3,424	3,353	2,987	3,120	3,397	3,371	3,594	3,292	3,323	3,334
		増減	0	0	0	0	△ 41	△ 54	313	0	0	0
歳 出 計	12,748	新計画	13,114	13,154	12,906	13,003	13,177	13,220	12,901	12,931	13,034	13,163
		見込	13,114	13,154	12,906	13,003	13,294	13,743	13,631	12,931	13,034	13,163
		増減	0	0	0	0	117	523	730	0	0	0

歳 入 歳 出 差 引	689		613	249	297	9	△ 18	△ 321	153	△ 8	0	△ 87
うち 行 革 改 善 額		新計画	(144)	(227)	(399)	(326)	(408)	(542)	(552)	(572)	(581)	(588)
財 調 ・ 減 債 基 金 残 高	1,847		2,345	2,618	2,692	2,621	2,603	2,282	2,435	2,427	2,427	2,340
歳 入 歳 出 差 引			613	249	297	9	164	△ 538	△ 653	△ 8	0	△ 87
うち 行 革 改 善 額		見込	(144)	(227)	(399)	(326)	(513)	(647)	(552)	(572)	(581)	(588)
財 調 ・ 減 債 基 金 残 高			2,345	2,618	2,692	2,621	2,655	2,100	1,447	1,439	1,439	1,352
財 調 ・ 減 債 基 金 残 高		増減	0	0	0	0	52	△ 182	△ 988	△ 988	△ 988	△ 988

### 【財政収支見通しの前提条件】

計画期間中の収支見直しについては、当初、平成 24 年度当初予算をベースに算定しましたが、平成 27 年 12 月に下記の条件により平成 27 年度以降分について見直しを行ったものに、次の前提条件のもと、普通会計の一般財源ベースで平成 32 年度までの 10 年間に於ける財政収支見込を見直し、試算しています。今般、平成 28 年度決算見込み額が固まり、平成 29 年度の最新情報も加味しています。

### 【歳入】

---

市税	平成 26 年度決算額に生産年齢人口や実質経済成長率の増減率を反映させ試算。固定資産税は評価替え年度等、過去の増減実績を考慮。
地方交付税	基準財政収入額は、市税及び交付金等の増減率を、基準財政需要額は、事業費補正を反映。
譲与税・交付金	税制改正と生産年齢人口推計及び実質経済成長率の増減率を反映。
その他収入	臨時財政対策債を含み、土地売却収入以外は平成 29 年度以降同額。

### 【歳出】

---

人件費	平成 27 年度以降は退職による欠員を一部不補充として採用を行い、6 名を削減するものとして試算。
扶助費	社会保障関係費の増減見込みや生産年齢・高齢者・15 歳未満各人口推計等を反映させ試算。
公債費	既発債は起債償還計画を基に試算し、新発債は臨時財政対策債を平成 28 年度予算額で固定し、投資的事業にかかる起債は毎年度 6 億円で試算。ただし、老朽施設耐震化工事を除く。
物件費	生産年齢人口推計と実質経済成長率の増減率を反映。
投資的経費	普通建設事業費及び政策的経費総額を平成 28 年度以降 9 億円。
下水道事業繰出金	下水道事業会計収支計画による。
病院事業繰出金	平成 25～27 年度を 8 億円、平成 28 年度以降を 9 億円。
その他	実質経済成長率や生産年齢・高齢者人口推計等を反映させ試算。 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療各特別会計に対する繰出金及び産業振興促進奨励金等補助費等並びに維持補修費等を含む。

人口推計： 加西市地域創生戦略 パターン 3（独自推計：合計特殊出生率が上昇するとともに、純移動率が平成 2 年-平成 7 年の水準に回復し、さらに定住促進等により若者等の転入が増加すると仮定した場合）により推計した数値を使用

経済成長率：平成 27 年 7 月に提出された内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」のベースラインケース（経済が足元の潜在成長率並み推移を想定した場合）を使用

## 第2回部会 外部評価（2次評価）実施要領

## 1 外部評価（2次評価）の進め方

## (1) 部会での検討（60分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。  
評価方法は、施策毎の内部評価（1次評価）が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄にSからDを書き込んでいく。
- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

## (2) 全体会での検討（30分）

- ① 各部会長より作業分までの総括・感想（15分：1部会3分程度の報告後、意見交換）
- ② 全施策において下記条件の対象となる施策の意見交換（15分：報告後、意見交換）

## (評価テーブル)

- 内部評価（1次評価）と外部評価（2次評価）ともに評価が低かった施策

		内部評価（1次評価）				
		S	A	B	C	D
外部評価 （2次評価）	S	10	9	8	7	6
	A	9	8	7	6	5
	B	8	7	6	5	4
	C	7	6	5	4	3
	D	6	5	4	3	2

- 外部評価（2次評価）が内部評価（1次評価）に比べて、2段階以上評価が低い施策

		内部評価（1次評価）				
		S	A	B	C	D
外部評価 （2次評価）	S	10	9	8	7	6
	A	9	8	7	6	5
	B	8	7	6	5	4
	C	7	6	5	4	3
	D	6	5	4	3	2

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					進捗状況	課名	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	最終とりまとめ		総合評価	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
							区分	単年(H28)	最終(H32)			H28取組状況						
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	93	78	B	②	C	公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(富合小・宇仁小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校読送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。また、文化ホールが9か月間改修中で使用できませんでしたが、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、加西市文化祭の参加人数が増加しました。	学校休業日の教育活動は、さらに新しい校区での実施等を目指すほか、アステアがさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。また、文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況ですので、より一層の指導・支援が必要となっています。	2次評価での意見・提案等		
		2		6	生涯学習課	生涯学習課	②	B	83	48	C	②						
		3		7	図書館	図書館	②	B	96	88	C	②						
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	116	116	B	②						
		5	5-83	9	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	100	B	②						
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	71	50	C	②	B	各施策に対する自己評価コメント	2次評価による総合評価			
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	94	93	C	②	S:目標を大きく上回って達成 A:目標を上回って達成 B:目標を達成 C:目標を下回っている D:目標を大きく下回っている	各施策に対する自己評価コメント	2次評価による総合評価			
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	74	C	②						
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	122	98	A	②						
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	15	15	C	②	B	各施策に対する自己評価コメント	2次評価による総合評価			
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	④						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)							市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)			H28取組状況	課題と今後の取組			
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	93	78	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(富合小・宇仁小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校放送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。 また、文化ホールが9か月間改修中で使用できませんでしたが、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、加西市文化祭の参加人数が増加しました。	学校休業日の教育活動は、さらに新しい校区での実施等を目指すほか、アステアがさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。また、文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況ですので、より一層の指導・支援が必要となっています。	B	図書館の利用者数の減少は、西脇市に新しくオープンしたMirai(みらいえ)の影響とのことだが、加東市は、全国的にも貸出数が多く、インターネットで貸し出し中であっても、予約できるようになっていて便利である。
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	83	48	C	②					
		3		7	教育委員会	図書館	②	B	96	88	C	②					
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	116	116	B	②					
		5	5-83	9	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	100	B	②					
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	71	50	C	②	C	市外の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サイサイまつり・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。平成28年度の加西サイサイまつりでは「お花け屋敷大作戦2016」を実施し、約1,000名が来場しました。	青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少していますので、会員数の増加と事業の活性化を図ります。また、就職等によりジュニアリーダー活動から離れた若者が、再加入できるような継続的な情報提供をするとともに、新規メンバーの獲得のため、広報活動の充実を図ります。	C	成人式の取り組みはユニークだと思うが、運営についてはさらに改善が求められている。モラルの欠如に対してどう対応していくのか、行政から何かコーディネート的な踏込が必要である。
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②					
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	94	93	C	②	B	市民グラウンド防球ネット設置、アラジスタジアム・テニスコート自家用電気工作物修繕、アラジスタジアムカウント掲示板修繕等を実施し、利用者の利便性向上を図りました。また、理太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催し、スポーツ教室では予定よりも多くの方に参加してもらえました。	体育施設の利用人数向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催することや、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要となります。	B	健康ポイントのインセンティブもあって、ウォーキングを楽しむ人やスポーツセンターに新規加入する人が増えているのは好ましい。玉丘古墳などを歩いている人も増えてきていると思う。
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	74	C	②					
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	122	98	A	②					
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	15	15	C	②	B	市の単独事業ではなく、官民連携による婚活イベントの実施によって、良質な事業をリスクなく効率的に進めることができました。また、オーグタウンや市内の製造会社での活動を行うことによって加西市の資源を有効活用することができ、加西市のPRを行うことができました。	残念ながら成立カップルが市外在住者ばかりであったため、加西市在住者の参加料金を低額にするなどの対応や新たなアイデアが必要となっています。今後も官民連携によって様々な工夫や取組を行うため、婚活推進に民間活力の導入をさらに進めます。	B	結婚の世話を焼く人がかつてのようになくなってきているが、民間にまかすべき課題である。最近では、結婚した女性が男性を加西に連れて戻ってくるケースも少なくないと思われる。 閉鎖的な土地柄といわれるが子育て支援策は県下トップレベルであり、市外から加西に足りないもの、また魅力を探るのも一手。
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	④					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組			
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	33	B	②	B	小中連携の取組の充実を図るため、小中合同研修会、相互授業参観、研修講座等を実施したほか、外国人語学指導助手(ALT)を6名確保し、英語科・外国語活動の充実を図りました。 また、北条高校活性化協議会を実施主体に河合塾や兵庫教育大学の学生を講師としたアフタースクールゼミを受講者の学力に応じたよりきめ細やかな学習支援を行いました。	小中連携による9年間のカリキュラムの検討など、小中連携推進プランに基づく取組を強化するとともに、小学校外国語活動の教科化を見通して、小学校外国語活動に係る教員の指導力向上研修の充実を図ります。また、国立大学の合格者数の増加を目指すなど、市内普通科高校の生徒確保及び活性化を継続して進めていきます。	B	いろんな取り組みをよくやっていると評価できる。 教育環境がよく整っているところに若いカップルは住むので、力を入れてほしい。 コース新設もあって、市内の普通科高校はかつての状況とよりどしどし近づくと感じられ、今後に期待している。
			2		20	教育委員会	学校教育課	②	B	100	86	B	②					
			3		21	教育委員会	教育総務課	②	A	100	44	B	②					
			4		22	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②					
			5		23	教育委員会	学校教育課	②	A	100	80	B	②					
			6	5-86	24	教育委員会	総合教育センター	②	S	110	108	B	②					
			②					A	100	100								
			7	5-85	26	教育委員会	学校教育課	②	A	100	33	B	②					
8	5-87	27	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	97	81	B	②								
2	6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	29	教育委員会	教育総務課	③	A	100	-	B	①	B	西在田小学校の地震改築工事は残りの解体工事が予定通り完了し、各学校施設の改修工事について平成29年度からの改修計画を策定しました。また、単独調理場の統廃合に向けて事業計画を策定し、実施計画・建設工事を行う準備を行いました。	昭和56年以降に建設された建物は改修を行っていないため、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要となっています。また、単独調理場施設が、建設より27年経過しており、南部給食センターの早期完成による統合が必要です。	B	特になし。
								③	A	100	-							
								③	A	100	-							
2		31	教育委員会	教育総務課	②	-	-	-	B	②								
3		32	教育委員会	教育総務課	②	-	-	-	C	②								
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	33	教育委員会	学校教育課	②	A	100	94	B	②	B	各校で地域の方々をゲストティーチャーとして招き、「生きる力」の育成とふるさと意識の醸成に努めました。また、全校でオープンスクール(運動会、音楽会、参観日等含む)を実施して児童生徒のありのままの姿を見ていただいた後、アンケート等で感想をもらうことで、学校改善を図るよう努めました。	地域と連携を深め、学校として希望する内容を指導できる人材の発掘・確保に努めます。また、オープンスクール実施にあたり、地域への周知の方法を工夫するとともに情報発信を積極的に行ううえで、効果的な内容を考えます。	B	時代の流れの中で学校の門が開まっても、開かれていることが感じられるようにすべきである。オープンスクールは、参観日と違って近所の誰が行ってもよいことがわかるよう、周知の方法を検討し積極的にPRして行ってほしい。
			2		34	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	100	B	②					
			3		35	教育委員会	学校教育課	②	B	91	67	C	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	最終とりまとめ		市民会議意見			
								区分	単年(H28)	最終(H32)			総合評価	H28取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
3	裾野の広い農業の育成	1	4-65 3-60	37	地域振興部	農政課	②	A	100	33	B	②	裾野の広い農業を育成するため、「かさい農業塾」の開催、特産品普及推進、市民農園の整備、新規就農の受け入れ促進、法人化を検討する組織との協議、認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速等を行いました。 また、人口増対策プロジェクトチームにおいて「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパス誘致についての検討を行いました。	各機関と連携して継続した取り組みにするための関係者どうしの結び付き強化やブランド・特産化については、規模拡大と共に品質の均一化が大きな課題となります。また、全国的なPRを行うため、関係機関一丸となった体制づくりや雇用の安定化に向けた指導ノウハウの蓄積及び法人化を推進するための支援策が必要です。				
							②	S	200	100								
		2	2-46	39	地域振興部	農政課	②	S	150	100	A	②						
							②	B	92	66	B	②						
		3	3-62 2-47	40	地域振興部	農政課	②	S	250	250							A	②
							②	A	100	90								
		4	2-49 2-50	42	地域振興部	農政課	②	S	550	550	A	②						
							②	S	150	150								
5		44	地域振興部	農政課	②	B	97	48	C	②								
					②	A	100	100	B	②								
6		45	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②								
					②	-	-	-	C	②								
7	2-48	46	地域振興部	農政課	②	-	-	-	C	②								
					②	-	-	-	C	②								
8	3-59	47	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	C	②								
					②	-	-	-	C	②								
3	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	49	地域振興部	農政課	②	B	80	60	C	②	地域資源を活用した産業振興のため、加西産野菜を使った学校給食の一部採用、商工会議所との連携による地域ビジネス講座の開催、さらにはビジネスタイプの宿泊施設を誘致工事着工しました。 新産業団地については、整備手法等について関係協議、検討地の地元と協議し、箕島町国道37号沿道地区については地権者へのアンケート調査を行いました。また、市内企業の拡張の支援について工業系特別指定区域にて加西市独自基準を策定し、6地区の指定を進め、地区計画制度を活用し、市街地調整区域にて下宮木町南部産業集積地区計画を策定しました。	加西産野菜について、生産量の不足、担い手をどう確保していくかが課題です。また、新規産業団地については、整備手法・スケジュールについて関係協議と協議を続けます。また、地域の理解を得るため、アンケート調査・説明会等を適時開催します。市内企業の拡張の支援として特別指定区域及び地区計画制度を活用した規制緩和を行い、地域の実情に沿った適切な制度の活用を進めます。				
							②	A	100	100	B	②						
		2		50	地域振興部	農政課	②	S	101	95	B	②						
							②	B	81	67	C	②						
		4	3-57	52	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	76							C	②
							②	A	100	94								
		5		54	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B	②						
							②	S	101	95	B	②						
		6	4-67	55	地域振興部	産業振興課	②	B	91	89	B	②						
②	-						-	-	B	②								
7	2-39 4-68	56	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B	②								
					②	A	100	94	B	②								
8		57	地域振興部	産業振興課	②	-	-	-	B	②								
					②	A	100	94	B	②								
9	3-56	58	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B	②								
					②	A	100	94	B	②								
3	加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	59	地域振興部	産業振興課	②	A	100	94	B	市内出身者の多い15大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めるとともに、ふるさとハローワークを運営し就職の促進を図るほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を充実しました。また、出産や子育てのために未就業の女性講座の経費の一部を助成する制度を実施しました。 その他、UJIターナー者の支援としてUJIターナー促進補助金の交付を行うとともに、定住促進や若者主役計画のPRを図るため加西市の活性化ツールとして動画を制作しました。	中小企業の人材確保のため市内企業のPRに努めます。また、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、新たな定住促進施策を立案していきます。子育て就職支援補助制度の利用を図るため、さらに周知を図り、女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討します。UJIターナー促進補助金については、補助金額が年々大きくなっているため、事業の効果検証を行いながら、制度の改正等について検討していく必要があります。					
							②	A	100	86								
		2		61	地域振興部	産業振興課	②	B	82	72	C					②		
							②	S	103	93	B					②		
		3	2-34	62	地域振興部	産業振興課	②	B	98	84							B	②
							②	B	0	0	C					②		
		4	2-38	64	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	C					②		
							②	B	96	72	C					②		
		5	2-32	65	地域振興部	産業振興課	②	B	96	72	C					②		
							②	S	107	92	B					②		
6	2-33	66	地域振興部	産業振興課	②	B	93	39	B	②								
					②	A	100	100	B	②								
7	2-36	67	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	100			B	②						
					②	S	102	46										
8	2-41	68	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	100	B	②								
					②	S	102	46										
9	2-42	70	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	20	20	C	②								
					②	A	100	71	B	②								
10	2-45	71	地域振興部	産業振興課	②	A	100	71	B	②								
					②	A	100	71	B	②								
3	加西らしい観光サービス	1		73	教育委員会	生涯学習課	②	S	155	113	A	②	住吉神社歴史的建造物群(9件)を市指定文化財に指定し、7件が県指定文化財に指定されました。また、青野原摩崖塚群など歴史文化遺産の調査を行いました。 「かさいまちあそび」ではプログラム数が昨年より2つ増えるなど充実を図ったほか、観光拠点のネットワーク化を図るため観光施設のWi-Fiスポットとして五百羅漢、法華山など観光地を中心に設置を完了しました。	平成29年度に「加西市歴史文化構想」を策定し、今後は包括的な文化財の指定を進めていきます。ハイキングとバスツアー助成は好評で今後も継続して行い、加西への訪問者を増やします。そのため、フェイスブックを活用して、タイムリーな情報提供を行います。「かさいまちあそび」では加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体の育成を行います。				
							②	S	270	135	B	②						
		3	3-58	75	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	98	72	A	②						
							②	S	130	96								
		4		77	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	86	B	②						
							②	B	98	80	B	②						
		5	2-51 6-92	78	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	98	80	B	②						
②	S						1000	100	S	②								
6	3-54	79	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	-	-	-	C	②								
					①	-	-	-	C	②								
7	3-55	80	ふるさと創造部	人口増政策課	①	-	-	-	C	②								
					①	-	-	-	C	②								

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況				課題と今後の取組
4	12	魅力ある中心市街地の形成	1	81	総務部	管財課	②	-	-	-	C	②	B	西高室地区区画整理事業について保留地販売を開始し、販売促進活動等も行って71区画中96区画を販売しました。新たな土地区画整理事業等としては候補地の調査を行うとともに、整備手法等の検討を行いました。また、市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封し制度周知を行いました。	旧消防署跡地については、丸山バイパス改良工事や西高室区画整理事業の動向も見極めながら、売却事務を進めます。東南住宅跡地についても、近隣の開発計画を見ながら売却方法を検討します。旧庁舎については、ホテル開業による周辺土地利用の需要を考慮し効果的な活用方法を検討します。空き家調査をすすめ、空き家バンクの登録数を増やしストックの流動化をすすめます。	B	加西市のまちづくり。特に「市街地の整備の方向性」を明確にした上で、市所有未利用地の住宅開発の促進や旧市街地の歴史的街並みの継承等を行う必要がある。そしてこれら取組を有効なものとするための効果的なPRも必要不可欠である。店舗等の立地促進や空き店舗の利活用については、近隣と比較してもサービス業が少ない加西市の現状を踏まえ、新たに整備する空き店舗(バンク等)によるマッチングを進めるとともに関連施策の積極的なPRをする必要がある。	
			2	1-31	82	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B						②
			3		83	都市整備部	都市計画課	②	B	25	25	C						②
			4	2-40 2-43 2-44	85	地域振興部	産業振興課	②	B	84	84	C						②
								②	B	0	0							
								②	A	100	20							
								②	A	67	13							
			5	4-77	87	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	120	120	B						②
			6	1-25	88	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B						②
			7・8	1-27	89	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	122	105	A						②
			9	1-28	90	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	108	72	A						②
10	4-74	91	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B	②								
11	4-78	92	都市整備部	都市計画課	②	B	78	23	B	②								
4	13	周辺地域の定住促進	1	3-63	93	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	0	0	B	A	空き家・空き店舗の活用に向け、北条旧市街地ビジョンや北条旧市街地リノベーション計画の策定や、若者向けの持ち家促進のための新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しのほか加西インター周辺・鶴野飛行場跡地周辺等について有効な土地利用に向けて取り組みました。要望があった1地区において、地縁者の住宅区域及び地縁者の小規模事業所区域の指定を進め、市ホームページ等で、地縁者の住宅区域や新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。	市内全域での空き家の基礎調査を行った上で、利活用可能な空き家を対象に支援策を検討します。加西インター周辺の土地利用、鶴野飛行場跡地周辺整備、地縁者住宅区域の見直しを行うための準備を進めるほか、市街地調整区域内の各小学校区における住宅地整備の可能性について調査を行います。	B	周辺地域、とくに市街地調整区域については、県等との連携により可能な限り土地利用の規制緩和に努め、ペレデしもさらに続く住宅地の確保に取り組む必要がある。加西インター周辺の土地利用や鶴野飛行場周辺整備については、平成29年度から新たに設置された担当部署を中心とし、目標達成に向けて今まで以上に取り組んでいきたい。 「かさいふたリズム推進事業」については移住・定住に係る取組であるため、民間事業者のみに任せるとなく、設立予定のまちづくり会社を中心とした総合的な移住制度を構築する必要がある。	
				3-64				S	124	62								
				4-76				S	67	40								
			2		95	都市整備部	都市計画課	②	B	25	10	B						②
			3	1-26	96	地域振興部	産業振興課	②	S	190	152	A						②
				1-30				S	108	93								
			4	4-75	98	都市整備部	都市計画課	②	-	-	-	B						②
			5	3-53	99	都市整備部	都市計画課	②	A	100	50	B						②
			6		100	都市整備部	都市計画課	②	S	158	158	B						②
7	1-24	101	都市整備部	都市計画課	②	S	105	32	B	②								
8	1-29	102	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	④								
9	2-35	103	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	100	B	②								
4	14	公共交通網の構築	1・2 6・9	1-1 4-69 4-71	105	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B	B	コミバスの利用者に対する聞き取り調査を行い、広域的な移動の確保のため利用状況の調査・分析や民間路線バスを支援しました。公共交通のわかりやすい情報提供ツールとして公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、公共交通の利用促進を図りました。また、運賃軽減に向けた制度設計を行い、H28.11月より高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。	地域主体型交通の導入に向け、地域への支援体制を整備し、地域公共交通網形成計画を策定し、面的な公共交通ネットワークの構築を図ります。また、広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入の推進、市内の施設情報などの充実、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。	B	公共交通の取組みは多く、特に北条鉄道での取り組みは評価できる。鉄道の利用者数は減っているものの、少子化などにより通学利用が減る中で目標値の設定が厳しい可能性がある。今後は、日常利用だけでなく観光利用の推進が重要になる。バス関係の取組みも多く、コミバスの利用者数は目標値を上回っている。車の交通分担率が高く、公共交通の取組みに対する一般市民の認知度や関心が低く情報が伝わりにくい状況にある。さらなるPRが必要。また、公共交通は待ち時間が面倒だと感じられやすい。待ち時間も楽しめるまちづくりが必要。鉄道、コミバス、地域主体型交通などさまざまな交通モードを含め、公共交通全体の再編に取り組むことで公共交通の利用者数の底上げが必要。	
				3				1-1 4-71	107	ふるさと創造部	人口増政策課							②
			4	1-1 4-69 4-71	108	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B						②
			②	B	93	89												
			5	4-69	110	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	93	89	C						②
			7・8	1-1 4-69 4-71	111	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	114	76	B						②
②	B	93	89															
4	15	住みよい住環境	1	113	都市整備部	都市計画課	②	S	116	109	B	B	史跡整備基本計画に従い、順次、史跡整備(笹塚古墳・マンジウ古墳)を実施します。都市公園等については指定管理者と共に、利用者数の更なる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に取り組みます。	史跡整備基本計画に従い、順次、史跡整備(笹塚古墳・マンジウ古墳)を実施します。都市公園等については指定管理者と共に、利用者数の更なる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に取り組みます。	B	基幹道路網の整備や集落道路の改良については目標を下回る結果となっているが、これら施設は地域の生活や産業を支える基盤であるため、引き続き計画に基づく管理をお願いする。		
			2	114	教育委員会	生涯学習課	②	-	-	-	B						②	
			3	4-70	115	都市整備部	土木課	②	B	30	7						C	②
			②	B	89	18												
			4	117	都市整備部	土木課	②	A	100	96	B						②	
			5	118	都市整備部	土木課	②	S	144	52	A						②	
			6	119	都市整備部	土木課	②	S	167	71	A						②	
7	120	都市整備部	土木課	②	A	100	20	B	②									

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組			
5	16 社会参加を通した生きがいづくり	1		121	教育委員会	生涯学習課	②	S	113	107	A	②	A	公民館における高齢者講座について、魅力ある講座の開催や情報提供を行った結果、受講者数が増加しました。運営委員会の自主運営で事業を実施するなど、高齢者講座の活性化が進んでいます。高齢者についてはシルバー人材センターへの活動助成、介護予防リーダー養成講座や生活支援・介護サポーター養成講座の実施等を通して、また障がい者については障がい者サロン事業への助成、就労支援員との連携による就労支援・定着支援を通して、高齢者や障がい者の社会参加や生きがいづくりの支援に取り組みました。	高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりを終始しない学級運営を目指します。課題として、高齢者講座のボランティアの確保が難しくなっている現状があります。シルバー人材センターの新規会員登録のための事業展開が課題です。また、障がい者サロンに参加する団体の増加等を図るとともに、障がい者等の雇用による就労支援員による事業者や関係機関等との連携をさらに深めながら支援を行っていきます。	B	高齢者の雇用の確保等、一部近隣の取組みの方が進んでいる分野はあるものの、相対的に加西市における高齢者や障がい者の社会参画は進んでいると思われる。引き続き高齢者や障がい者が生きがいを持って暮らせるまちづくりに取り組んでもらいたい。	
		2		122	健康福祉部	長寿介護課	②	B	92	79	B	②						
		3		123	健康福祉部	長寿介護課	②	B	83	62	B	②						
		4		124	健康福祉部	地域福祉課	②	S	156	143	S	②						
		5		125	健康福祉部	地域福祉課	②	B	96	73	B	②						
		6	3-61	126	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B	②						
5	17 ところからたの健康づくり	1	5-80	127	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	B	93	76	B	②	B	がん検診の受診啓発を行うとともに4か月健診・3歳児健診時における予防接種状況を把握し新たな助成制度や方法の検討を行います。平成29年度は第二次食育推進計画を策定し食育の推進に取り組みます。不妊治療助成について回数制限撤廃を周知し利用促進を進めます。また、運動ポイント事業については実施期間外や事業終了後も継続できるような取り組みやすい環境整備を図り、自主的な健康づくりの習慣化を目指します。	がん検診の受診啓発を行うとともに4か月健診・3歳児健診時における予防接種状況を把握し新たな助成制度や方法の検討を行います。平成29年度は第二次食育推進計画を策定し食育の推進に取り組みます。不妊治療助成について回数制限撤廃を周知し利用促進を進めます。また、運動ポイント事業については実施期間外や事業終了後も継続できるような取り組みやすい環境整備を図り、自主的な健康づくりの習慣化を目指します。	B	健診については、市民が健診を受けやすい体制整備に引き続き取り組んでいきたい。特にがん検診や特定健診等、受診率が目標を下回っているものについては、原因分析のうえ、対象者への周知も含めた受診率の向上が必要である。予防接種の助成制度については、近隣においても先進的に実施している団体があり、また子育て世代の経済的負担の軽減や子どもの健康づくりに資する施策であるとの観点からも、医師会等の関係団体との調整のうえ、制度の創設を進めていきたい。歩いて暮らす健康づくりについては、平成28年度に多くの市民が「健康ポイント事業」に参加し、新たに運動を始め、健康意識を高めるきっかけとなったことから、引き続き市民の健康づくりの動機となるような環境整備に引き続き取り組んでいきたい。	
							②	S	118	102								
							②	S	-	66								
		2	1-2	129	健康福祉部	健康課	②	-	-	-	C	②						
							②	-	-	-	B	②						
		3		130	健康福祉部	健康課	②	-	-	-	B	②						
							②	B	96	87								
		4		132	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	S	112	104	A	②						
							②	-	-	-	B	②						
5		133	健康福祉部	健康課	②	S	106	88	A	②								
					②	B	98	80										
6		134	健康福祉部	健康課	②	S	75	90	A	②								
					②	-	-	-	B	②								
7		135	健康福祉部	健康課	②	-	-	-	B	②								
					②	B	98	80										
8	1-19	137	健康福祉部	健康課	②	B	83	67	C	②								
					②	A	100	50	B	②								
9	5-79	138	健康福祉部	健康課	②	A	100	50	B	②								
					②	-	-	-	B	②								
5	18 地域医療体制の充実	1		139	加西病院		②	B	44	31	C	②	B	循環器内科の開業医・救急向けホットラインを開設し、急変した患者さんの早期受け入れを促進しました。地域医療市民フォーラムでは基調講演の後、パネルディスカッションを行うなど、信頼される病院づくりに努めました。また、地域包括ケア推進部会を立ち上げ、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される体制構築に向けて検討を行うとともに、地域医療市民フォーラムを開催し地域医療の現状や課題の共有を図りました。また、加西市医師会による休日診療、加西市歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	医師の減少により入院患者数が減少しており、医師の確保に今後とも努力してゆく必要があります。それに加えて、診療所との連携をより深めて患者受け入れを促進する必要があります。また、医療や介護が必要となっても安心して地域で生活できる仕組みを構築するため、引き続き地域包括ケアシステム部会において医療と介護の連携のあり方について協議し、施策の具体化を図っていきます。産婦人科医療等の開設については市立加西病院産婦人科の医師確保及び利用状況並びに今後の出生者数の動向等を踏まえ、民間の産婦人科医療等の開設の必要性及び費用対効果等を念頭に置きつつ検討を進める必要があります。	C	地域医療体制の充実を図るには市立加西病院の存続は必要不可欠であることから、タウンミーティングの議論や各地の事例等を踏まえ、市立加西病院を核とした地域医療体制の充実について全市民的に検討する必要がある。加西市には民間の産婦人科医院がないため、安心して出産できる環境整備や子育て支援の観点から、産婦人科医院の開設支援については実現に向けて引き続き検討していただきたい。	
		2		140	加西病院		②	B	92	82	C	②						
		3		141	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	A	100	91	B	②						
		4		142	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	B	32	26	C	②						
		5		143	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
		6	1-4	144	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	B	②						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等		
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組				
6-19	地域で支え合う安心の暮らし	1		145	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	S	105	91		B	②	B	高齢者には、地域資源の発掘と地域サービスの創出をコーディネートする生活支援コーディネーターを配置し、地域団体や事業所による協議体を設置しました。障がい者には、地域活動支援センターへの助成やグループホーム整備への補助金を創設し施設整備をすすめました。また、配食サービスや移送サービスを実施するとともに、介護予防リーダー養成講座を7回、あったか声かけ作戦を11回実施し介護予防の普及啓発や認知症理解に努めました。	地域ケア会議のモデル地区を立ち上げ、地域の实情にあった地域包括ケアシステムを構築することが課題であり、生活支援コーディネーターや協議体による資源発掘とサービス開発をコーディネートしていきます。配食サービスについては多様な民間サービスの提供も考えます。また、移送サービスでは利用が低減傾向にあり公共交通施策を含めた総合的な移動サービスの検討をしていきます。			
					健康福祉部	長寿介護課	②	B	76	76	B	②							
		2		147	健康福祉部	長寿介護課	②	B	79	79	C	③							
		3		148	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	B	89	60	B	②							
		4		149	健康福祉部	長寿介護課	②	B	0	0	C	②							
		5	5-81	150	健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	100	B	②							
6-20	防犯・防災のまちづくり	1		153	総務部	危機管理課	②	B	97	91	B	②	B	防災対策については自主防災組織の育成に取り組んだほか、防犯対策では、子どもの安全を確保する取組として、登下校時の防犯パトロールを行うとともに、防犯カメラ、防犯灯の設置を強化しました。	自主防災訓練を実施する自主防災組織が固定化している為、実施していない地域への普及啓発を行います。また、地元とも連携し、老朽危険空き家における事故を未然に防ぐことに努めます。				
					2		5-89	154	総務部	危機管理課	②	B						84	52
		2				156	総務部	危機管理課	②	S	103	93						A	②
		3		156	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		4		157	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		5		158	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B	②							
		6		159	総務部	危機管理課	②	S	147	44	A	②							
6-21	安心できる子育て支援	1	1-6	161	教育委員会	こども未来課	②	B	83	100	C	②	B	児童保育専用棟を富合小に整備し、指導員の確保・充実を図るための指導や新人研修への参加機会を拡充しました。加西こども園の整備を実施し、平成30年4月の北条地区こども園開設に向け、仮設園舎の整備に着手しました。4・5歳児の保育料無料化を継続で実施しました。子育て支援については、すくすく相談窓口を開設し、妊娠からの支援に努めるとともに、市内4機関に委託し産後ケア事業を開始し支援の必要な方へ利用を奨励しました。また、児童虐待防止の啓発リーフレットや相談窓口啓発カードの配布、ファミサポたよりの発行など事業の周知を行いました。中学3年生までの医療費自己負担無料化は継続して実施しています。新たなひとり親家庭支援に向けてニーズ調査を実施しました。	児童保育の利用者が増加し、定員に空きがないため、教室と指導員の確保が課題です。泉中学校区におけるこども園整備は、地域事情など、慎重に協議を進める必要があります。保育料の無料化について、対象年齢を引き下げると、利用者数増加が見込まれるため、設備や保育士の確保が課題です。ひとり親家庭の支援については、ニーズ調査を踏まえ具体的な事業の整備を行っていきます。水道基本料金の減免については加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。				
		2	1-20	162	健康福祉部	健康課	②	S	124	121	A	②							
		3	1-6	163	教育委員会	こども未来課	②	B	83	100	C	②							
		4		164	健康福祉部	地域福祉課	②	B	90	45	C	②							
		5	1-23	165	教育委員会	こども未来課	②	B	97	97	B	②							
		6	1-22	166	教育委員会	こども未来課	②	A	100	71	B	②							
		7	1-12	167	教育委員会 (ふるさと創造部)	こども未来課 (人口増政策課)	②	A	100	100		B						②	
		①	-				-	-											
		8	1-13	169	教育委員会	こども未来課	②	S	119	95	A	②							
		9	1-21	170	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	94	B	②							
		10	1-18	171	健康福祉部	国保医療課	②	S	101	99	B	②							
		11	1-3	172	健康福祉部	健康課	②	S	557	167	S	②							
		12	1-5	173	健康福祉部	地域福祉課	②	-	-	-	B	②							
		13	1-8	174	地域振興部	産業振興課	①	-	-	-	B	②							
		14	1-9	175	健康福祉部	地域福祉課	②	B	0	0	C	②							
		15	1-10	176	ふるさと創造部	人口増政策課	②	-	-	-	C	②							
		16	1-11	177	教育委員会	こども未来課	①	-	-	-	C	③							
		17	1-14	178	教育委員会	こども未来課	②	S	455	91	A	②							
		18	1-15	179	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	106	89	A	②							
19	1-16	180	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	90	75	C	②									

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組			
7	22 自然と共生する里地里山づくり	1		181	地域振興部	農政課	②	B	90	90	C	②	C	自然と共生する里地里山づくりのため、企業による森づくり活動を開始しました。3池の実施設計と2池の改修工事着工、獣害防護柵を15町に渡って設置、特定外来生物を285匹駆除、耕作放棄地解消活動を行いました。 あびき湿原保存会に市・県が補助を行い、保存会が第1湿原の周囲に延長300m防護柵の設置、第2湿原、第3湿原の周囲(約7,500m)の低中高木の間伐等を実施しました。夏休みに「環境ものづくりと昆虫を学ぶバスツアー」を実施しました。(54名参加)	地元が主体となった里山整備の推進を図るとともに、ため池一斉点検において要改修の結果が出ている箇所を計画的に改修します。獣害防止柵の設置推進、維持管理及び狩猟者の世代交代が課題であり、果樹就農希望者による耕作放棄圃地の再整備を検討します。 あびき湿原は保全・活用体制が整備され、全国的に高評価を得ており、バイオマストイレの整備、市・県天然記念物指定に向けて取り組んでいます。他の自然資源も保全・活用する仕組みが必要です。	B	普及啓発事業の参加人数の指標は、バス1台の乗車人数が目標値となっており、いくら努力しても54を超えることがない。指標を参加希望者やバスツアー申込者としてはどうか。 耕作放棄地の解消の参考例として、東京の企業で社員研修の一環として、NPO法人が間に入り農業体験をやっている事例がある。	
		2		182	地域振興部	農政課	③	A	100	100	B	②						
		3		183	生活環境部	環境課	②	A	100	100	B	②						
		4		184	地域振興部	農政課	②	B	50	13	C	②						
		5		185	地域振興部	農政課	②	S	74	89	A	②						
		6		186	地域振興部	農政課	②	B	110	138	C	②						
7	23 加西の風土を活かした景観づくり	1		187	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	60	B	②	B	花咲くまちづくりを推進するため、フラワーセンター、播磨農高での育苗を行い、公共施設、老人会花壇等に配布を行うことで、花咲くまちづくりに努め、育苗作業に取り組むボランティアの募集、育成に努めました。また景観との調和に努めるため、違反広告物パトロールを北条地区合同で行うほか、開発調整条例に基づく、適正な土地利用の推進のため、開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブル防止に努めました。	花咲くまちづくりを応援する、花と緑の協会の会員数の増加施策について検討します。資材等の高騰のなか、花の配布数の確保に努めます。 屋外広告物については、未申請となることも多いため、建築確認申請等の情報により申請の漏れを減らすとともに増加に違反広告物の指導に努めます。 開発調整条例に基づく、適正な土地利用の促進について継続して事前調整と適切な指導を継続します。	B	ふるさと加西のフォトコンテストは応募が少ない状況なので、例えば中学生や高校生に参加してもらってはどうか。 住民ボランティアによる植栽ポット数の目標値は11万ポットの現状維持の設定となっている。良い取組であり、年度によって11万ポットを下回ったらBやCの評価になってしまうのはもったいない。指標自体を見直す必要があると思われる。	
		2	6-92	188	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	87	72	C	②						
		3		189	都市整備部	都市計画課	②	B	97	69	B	②						
		4		190	都市整備部	都市計画課	②	S	127	127	B	②						
		5		191	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H28)	最終(H32)			総合評価	H28取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		H28取組状況
8-24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1	193	生活環境部	環境課	②	S	95	99	S	②	A	デマンド監視システムを運用し、庁舎電力負荷が上がらないように努めました。 住宅用太陽光発電システム設置補助金、電気自動車導入補助金事業を実施し、創エネ・蓄エネの取組を支援しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、事業者に指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めるほか、グリーンハウス建築促進補助金を実施しました。	市庁舎の電気使用量について、取組を継続していきます。 地域の住環境に配慮した大規模太陽光発電施設の導入が進むよう、新たなルール作りが必要となっており、H29年度は新たに蓄エネ設備である蓄電池も補助対象に加え、民生部門における創エネ・蓄エネを推進します。 民間による取組への助成、融資のため、グリーンハウス建築促進補助金の受付業務を継続して行います。	A	市庁舎の電気使用量を減少させる目標数値となっているが、暑い日が多いので現状維持で良いのではないかと。空調を切った状態で勤務しても効率が上がらないと思われる。 グリーンハウスの建築数は目標28で実績25、数値上は未達成だが、市の財政的には持ち出しが減った分プラスの見方もできる。 政策的な取組として補助金件数は分かりやすいが、指標として適切かは要検討。		
		2	194	都市整備部	都市計画課	②	B	89	89	C	②							
		3	195	生活環境部	環境課	②	S	115	84	S	②							
8-25	水環境のまちづくり	1	197	生活環境部	上下水道課	②	A	100	97	B	③	B	5地区 L=1.96kmの配水管布設替、2地区 L=1.24kmの配水管布設を実施しました。水処理率が90%に達していない町の未接続家庭への戸別訪問を7月及び11月に実施するとともにコミプラ(加西北部地区)、戸集(芥田地区)統合事業 工事を実施しました。市川町との受水費交渉を行い、責任水量を4,100㎥/日から100㎥引下げ、4,000㎥/日とすることで合意しました。 また、歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。	H28年度に見直した更新計画をH32年度以降に再度更新計画を見直します。合併浄化槽設置家庭の下水道接続が進み、いことから、合併浄化槽設置家庭には、水道メーターの検針時に水処理促進補助金制度のお知らせと下水道接続のお願いのチラシを配布するとともに、戸別訪問を継続します。 生活排水処理計画に基づき、統廃合事業を実施します。市川町とは受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き交渉を継続します。 公道の透水性舗装について今後計画的に整備を進めてまいります。	B	意見なし		
		2	198	生活環境部	上下水道管理課	②	S	101	97	A	②							
		3	199	生活環境部	上下水道課	②	A	100	33	B	②							
		4	200	生活環境部	上下水道管理課	②	S	98	99	S	②							
		5	201	都市整備部	土木課	②	B	82	21	C	②							
8-26	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1	203	生活環境部	環境課	②	A	100	90	B	②	B	播磨風土記をデザインしたマイバック(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減に取組みました。平成28年度はマイバック(エコバック)600枚を補充作成(配布実績398枚)しました。 家庭用の廃食用油の回収量は、H28年度10,768L、19,887円でした。「自作プロジェクト」は、市内間伐ボランティアや市内福祉法人と協力し、10の間伐材が薪に加工されました。「いかや焼プロジェクト」では、放置竹林整備のため、樹木粉砕機を貸出しました(10回体)。 要綱改正後の「資源物1kgあたり1円」及び「売り払い金額が5円未満の場合は、5円との差額」を回収量に応じて交付し事業の促進を図りました。	新規出店の量販店への協力依頼の実施とマイバック(エコバック)を利用してもらう習慣の啓発を併せて行います。3Rの啓発に努めます。廃食用油の回収は市民に浸透しており、継続していますが、食用油利用の減少が想定される中、いかに回収量を増やしていくかが課題です。市内全域に無料回収BOXが設置され、美ベース事業での回収量が年々減少傾向で、リサイクル率が下がる要因にもなっています。引き続き啓発に努め、地域のごみ減量とリサイクルの推進を図ります。	B	レジ袋削減協力事業者数のH32の目標数値が「10」となっているが、現状維持の「9」で良いのではないかと。		
		2	204	生活環境部	環境課	②	A	100	102	B	②							
		②	B	90	86	B	②											
		3	206	生活環境部	環境課	②	B	81	74	C	②							
4	207	生活環境部	環境課	②	S	101	99	B	②									
8-27	環境学習の推進	1	209	教育委員会	生涯学習課	②	B	72	37	C	②	B	公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を引き続き開催します。小・中学校9年間を見通した環境学習の実施や各校区の特色を踏まえたカリキュラム整備などが重要です。各校区での体験を伴う新たな学習教材や人材発掘に努めていきます。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から数百十万円の費用がかかるため、取り組める事業者が限られます。更新しない事業者が増えているため、少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続できる仕組みの検討が必要となっています。	公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を引き続き開催します。小・中学校9年間を見通した環境学習の実施や各校区の特色を踏まえたカリキュラム整備などが重要です。各校区での体験を伴う新たな学習教材や人材発掘に努めていきます。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から数百十万円の費用がかかるため、取り組める事業者が限られます。更新しない事業者が増えているため、少ない費用負担で環境に配慮した経営を継続できる仕組みの検討が必要となっています。	B	こども環境学習の受講者数の目標数値には足りない実績ですが、改善され「B」に近い「C」である。環境学習の実施学校数の目標数値が校数の15であり、がんばっても15がMAXのため、指標を見直す必要があると思われる。		
		2	210	教育委員会	生涯学習課	②	S	151	127	A	②							
		3	211	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②							
		4	212	生活環境部	環境課	②	B	87	87	C	②							
		5	213	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	A	100	40	B	②							

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)							市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H28)	最終(H32)				H28取組状況	課題と今後の取組		
9 28	情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	215	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	50	B	②	C	地域おこし協力隊を2名採用し、地域住民とともに地域課題に取り組み市内外の若い世代へ刺激を与えています。市内11小学校区で「加西ふるさと春ミーティング2016」を実施しました。	市の単独事業であり、他市町の国の支援がある地域おこし協力隊と比べて予算が少ないため、地域おこし協力隊の人材確保が困難となっています。また、ふるさと創造会議の取組は、地域差があり課題です。		
							②	A	100	67							
		2	6-90	217	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	57	C	②					
							②	B	50	17							
		3		219	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	③					
		4	4-73	220	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	82	B	②					
5		221	ふるさと創造部	秘書課	③	A	100	100	B	②							
6	4-72	222	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	②							
9 29	自己実現と共生のまちづくり	1		223	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	48	40	C	③	C	若者の起業支援・商業誘致、女性創業者の育成を継続して行いました。国際交流としては、外国人親子のための学習サポート教室を実施しました。人権意識向上のため、各種学習会等を開催しました。	外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させる必要があります。人権学習会では、参加者が自治会の役員に固定化されてしまう傾向が強いため、見直しが必要です。		
		2		224	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	39	26	C	③					
		3		225	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	67	40	C	②					
		4		226	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	91	60	C	②					
		5		227	ふるさと創造部	人権推進課	②	S	146	126	A	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アク ション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年 (H28)	最終 (H32)			最終とりまとめ		総合 評価	意見・提案等
													H28取組状況	課題と今後の取組		
10 30	行政サービスの向上と効率経営	1		229	総務部	総務課	②	A	100	102	B	②	B	第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、地域の産学官金労若老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計3回の会議を開催しました。定住自立圏においても、北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会にて外部委員による評価検証やKPI(成果指標)を設定し、効率的かつ透明性の高い行財政運営の構築に努めました。 また、前年度の決算を踏まえ、行財政改革プランのこれまでの財政再建と今後の財政見通しの見直しを行い、平成29～31年度の実施計画を策定しました。	加西市元気なまちづくり市民会議においては、平成29年度は回数を増やし部会での評価検証を充実させ、実りある市民会議の運営に取り組めます。 また、少子高齢化が進む中、社会保障、子育て支援等の多様化する住民ニーズに対応した産出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営をめざします。	
		2		230	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②				
		3・8	6-95	231	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	93	B	②				
		4		232	総務部	管財課	②	-	-	-	B	②				
		5	6-94	233	総務部	財政課	②	B	91	88	A	②				
							②	S	97	100						
							②	S	98	116						
					②	S	98	106								
6		235	総務部	税務課	②	B	98	96	C	②						
7		236	総務部	管財課	②	S	101	96	B	②						